

この度、JACCRO 様のご厚意により、2012 年 1 月 19 日～22 日にサンフランシスコで開催された ASCO-GI に参加させて頂きました。

海外の学会参加は随分久しぶりで、そして ASCO は今回が初めてであり、期待に胸を膨らませて日本を出発しました。羽田発の飛行機に搭乗しましたが、まわりには ASCO で発表されると思しきポスター収納ケースを携えた方を何人かお見かけしました。羨望・尊敬の思いとともに、お気楽な旅行気分である自分に少しだけ後ろめたさも感じました（嘘）。

サンフランシスコには夜に到着し、ホテルでしっかり睡眠を取り、翌朝リフレッシュした身体で歩いて学会場に向かいました。会場となったのは Apple が新製品を発表する舞台でお馴染みの（故スティーブ・ジョブズ氏が聴衆を魅了する数々のプレゼンテーションを繰り広げた）Moscone West でした。参加費として \$ 1,035（円高で良かった）もぼったくら・いや徴収されたので、しっかり勉強しようという気合いを入れました。初日が胃・食道、2 日目が肝胆膵、3 日目は大腸癌がテーマでしたが、それぞれ口演が 1 ヶ所、ポスター発表が 1 ヶ所と想像していたよりもずいぶんこぢんまりとしている感じを受けました（それだけ内容が厳選されているのだと納得しましたが・・）。

日本の先生も数名口演されていましたが、皆さん自信に満ちた堂々とした発表で、質問にも流暢に答えておられ、とても感銘を受けました。展示されていたポスターに関しては、内容もさることながら、どれも目を見張るほどレイアウトの美しいことが印象的でした。世界中の名立たる施設からの発表が多い中、我が山陰からも「Randomized controlled phase II study of alternate-day S-1 as adjuvant chemotherapy for gastric cancer」のタイトルで、鳥取県立中央病院の中村先生が発表されていました。胃癌の術後補助化学療法における S1 隔日投与の忍容性の高さが示されたものですが、当院も試験に参加しており、「Matsue city Hospital」の文字を見たときは嬉しく、そして少し誇らしい気持ちになりました。

残念だったのは、アメリカ西海岸と言えば青く澄んだ空のイメージのはずだったのですが、滞在中のほとんどは私の住む山陰の空と見間違えばかりにどんよりとした雲に覆われ、雨が降っていました。今ひとつ観光する気分にもなれず、消化不良のまま、サンフランシスコを後にしました。

いろいろとありましたが、とにかく非日常的で刺激的な経験をすることができました。機会があれば、今度は ASCO の総会にも参加してみたいと思います。

以上、他愛もない内容で恐縮ですが、参加報告とさせていただきます。

最後に、このような貴重な機会を与えてくださった JACCRO の関係者の皆様に心からお礼申し上げます。また、忙しい時期に 1 週間快く送り出してくれた職場の先輩・同僚の先生方にも感謝しています。ありがとうございました。